

## 稲作情報（ケイ鉄の必要性）

『この頃、稲が出来なくなった。ごま葉枯れや穂枯れが多くなった。』

こんなことを感じている方. . . ケイ鉄を最後に散布したのは何時ですか？

『もうケイ鉄を何年も入れていない』という方は、200kg/10a を散布しましょう。糸島の土壌は、砂地が多く秋落ちしやすい土壌です。秋落ち防止策の1つとして土壌改良材の施用があります。ケイ鉄請負散布の注文時期となっていますので、稲に対する効果を紹介します。

ケイ鉄は、珪酸、鉄、アルカリ分、マグネシウム、マンガン等の複合資材です。

**珪酸の効果** 稲は植物の中でも、珪酸を最も必要とする植物です。稲体の強化、倒伏防止、登熟向上等たくさんの効果があります。

玄米 600 k g に対して珪酸は 120 k g 必要といわれています。

このうち水・土から 30 k g 堆肥投入田は 50 k g

(必要量) 120 k g - (自然補填) 80 k g = (不足) 40 k g

これを ケイ鉄に換算すると 200 k g / 10a となります。

**鉄分の効果** 鉄は、酸素と結合し酸化鉄となり根に付着し有害ガスから根を保護します。秋落ちの原因は根の老朽化、つまり根を保護して収穫まで根の活力を維持することが、充実向上になります。また、ごま葉枯れは、含鉄資材を施用することで抑制されます。

**石灰の効果** 追肥をしても色が出ないときは、酸性土壌が原因かもしれません。糸島の土壌は酸性土壌が多く、石灰にはアルカリ分が多く含まれており、酸性土壌の矯正を行います。

**収穫が終われば土改剤を散布して田圃を労わりましょう！！**